

<記入例>

貨物軽自動車運送事業経営届出書

今般、貨物軽自動車運送事業を經營したいので、貨物自動車運送事業法第36条及び同法施行規則第33条の規定により、関係書類を添えて届出いたします。

氏名又は名称並びに代表者の氏名及び住所(主たる事務所)		開始予定日		平成 年 月 日	
ふりがな					
氏名又は名称 <small>(主たる事務所の名称)</small>	(通称名:)				印
代表者氏名					
住所 <small>(主たる事務所の位置)</small>					
電話番号					
事業計画の内容(住所と同じ場合は、□欄にチェックを入れる)					
営業所の名称及び位置					
営業所名	位置				
<input checked="" type="checkbox"/> 住所に同じ					
事業用自動車の種別ごとの数					
	車両数	乗車定員及び最大積載量		車両数	乗車定員
軽(普通)	両	名 kg	軽(霊柩)	両	名 二輪
				両	名
自動車車庫の位置及び収容能力					
位置			営業所からの距離	収容能力	
<input checked="" type="checkbox"/> 住所に同じ			m	m ²	
乗務員の休憩又は睡眠のための施設の位置及び収容能力					
位置			収容能力		
<input checked="" type="checkbox"/> 住所に同じ			m ²		
運送約款(該当する□欄にチェックを入れる)					
<input checked="" type="checkbox"/> 標準貨物軽自動車運送約款(平成15年国土交通省告示第171号)					
<input type="checkbox"/> 標準貨物軽自動車引越運送約款(平成15年国土交通省告示第172号)					
<input type="checkbox"/> その他運送約款					
運行管理体制を記載した書面					
所属営業所名			運行管理の責任者氏名		
運輸局 支局長 殿					
宣 誓 書					
<input checked="" type="checkbox"/> 届出にかかる自動車車庫については、私に使用権原があることを宣誓します。					
<input checked="" type="checkbox"/> 届出にかかる自動車車庫の土地・建物は、都市計画法等の関係法令に抵触しないことを宣誓します。					
平成 年 月 日					
住所					
氏名					
<small>(名称)</small>					
印					

事業を始める日を記入して下さい。

個人の場合は、事業を行う者の氏名、住所及び連絡先を記入し、捺印して下さい。
法人の場合は、会社の名称、代表者氏名、本社所在地及び連絡先を記入し、代表者印を捺印して下さい。
なお、事業を行うにあたって通称名(例：〇〇運送)を使用する場合は、その名称を記入して下さい。

事業用自動車を配置する営業所の名称とその住所を記入して下さい。(個人の場合は「本店」などと記入。法人の場合は会社で決めた名称を記入して下さい。)

配置する事業用自動車の種別とその数を記入して下さい。(乗車定員は車検証等の記載を確認して記入して下さい。)
・軽(普通)～軽貨物自動車で霊柩・二輪以外
・軽(霊柩)～霊柩に用いる軽自動車
・二輪～125ccを超えるバイク

事業用自動車の車庫の住所、営業所からの直線距離及び車庫の面積を記入して下さい。

自動車車庫と同様に、住所と面積を記入して下さい。

使用する約款にチェックを入れて下さい。(約款の添付は不要です。)
独自の運送約款を使用する場合のみ「その他運送約款」にチェックを入れ、当該約款も添付して下さい。

上記営業所の名称と日常の運行の管理を行う責任者の氏名を記入して下さい。(個人の場合で本人が責任者の場合は本人の氏名。法人の場合は会社で決めた責任者の氏名を記入して下さい。)

自動車車庫に使用権原(正当に使用する権利(所有権や賃借権))があることと、事業を行うにあたって、関係法令を遵守しているかどうかを宣誓していただきます。2カ所のチェック欄にシ印を付けた上で、届出日と同じ日付、届出人の住所及び氏名を記入し、捺印して下さい。(個人の場合は認印、法人の場合は代表者印。)

貨物軽自動車運送事業の経営届出様式を使用した場合の記入要領

1. 届出日の欄
経営届出書を運輸支局に提出する日を記入してください。
2. 開始予定日の欄
事業を始める日を記入してください。
3. 氏名又は名称(主たる事務所の名称)の欄
 - (1)個人名義で事業を行う場合は、氏名を記入してください。(記入例:〇〇 一郎)
 - (2)法人名義で事業を行う場合は、会社の正式名称を記入してください。(記入例:株式会社 〇〇運送)
 - (3)事業経営上、通称名を使用する場合は、(通称名:)の欄に、その名称を記入してください。(記入例: 〇〇 運送)
4. 代表者氏名の欄
法人名義で事業を行う場合に、代表者の氏名を記入してください。(記入例:代表取締役 〇〇 一郎)
5. 住所(主たる事務所の位置)の欄
 - (1)個人名義で事業を行う場合は、その方の住所を記入してください。
 - (2)法人名義で事業を行う場合は、会社の本社所在地を記入してください。
6. 電話番号の欄
連絡先となる電話番号を記入してください。
7. 営業所の名称及び位置
 - (1)営業所名の欄
事業用自動車を配置する営業所の名称を記入してください。
(記入例)
 - ・個人名義で1両で事業を行う場合には、自宅が営業所ということが考えられますので、その場合には、本店或いは 〇〇運送といった記入が考えられます。
 - ・法人名義で事業を行う場合には、会社で決めた名称を記入してください。
 - (2)位置の欄
当該営業所の住所を記入してください。なお、住所と同じ場合は、「□住所と同じ」のところの□にレ点し、住所の記入を省略して結構です。
 - (3)営業所が複数有る場合の記入等方法
2ヶ所目以降の営業所については、別に定めた補助用紙の所定欄に同様の記入方法で記入してください。
8. 事業用自動車の種別ごとの数
 - (1)営業所ごとの事業用自動車の種別ごとの数を、該当する欄に記入してください。
注)種別のうち、
 - ・軽(普通)とは、軽貨物自動車で霊柩及び二輪以外の自動車のことです。
 - ・軽(霊柩)とは、軽貨物自動車で霊柩自動車のことです。
 - ・二輪とは、二輪バイクで125CCを超える排気量のものです。
 - (2)営業所が複数有る場合の営業所ごとの記入方法
2ヶ所目以降の営業所分については、別に定めた補助用紙の所定欄に同様の記入方法で記入してください。
9. 自動車車庫の位置及び収容能力
 - (1)位置の欄
事業用自動車の車庫の住所を記入してください。なお、住所と同じ場合は、「□住所と同じ」のところの□にレ点し、住所の記入を省略して結構です。
 - (2)収容能力の欄
車庫の面積を記入してください。
 - (3)営業所が複数有る場合の営業所ごとの記入等方法
2ヶ所目以降の営業所分については、別に定めた補助用紙の所定欄に同様の記入方法で記入してください。
10. 乗務員の休憩又は睡眠のための施設の位置及び収容能力
「9. 自動車車庫の位置及び収容能力」に準じて記入してください。
11. 標準運送約款と同一の運送約款を定めるかどうかの別
 - (1)標準貨物軽自動車運送約款、標準貨物軽自動車引越運送約を使用する場合には、該当する運送約款の□にレ点してください。
 - (2)標準運送約款以外の運送約款を使用する場合は、「その他運送約款」の□にレ点してください。なお、この場合は、当該運送を添付することが必要となります。
12. 運行管理体制を記載した書面
 - (1)所属営業所名の欄
上記営業所の名称を記入してください。
 - (2)運行管理の責任者氏名の欄
上記営業所における、日常の運行管理責任者の氏名を記入してください。
(記載例)
 - ・個人名義で1両で事業を行う場合には、事業者本人が責任者であれば本人の氏名を記入してください。
 - ・法人名義で事業を行う場合には、営業所ごとに会社で選任した責任者の氏名を記入してください。
 - (3)営業所が複数有る場合の営業所ごとの記入等方法
2ヶ所目以降の営業所分については、別に定めた補助用紙の所定欄に運行管理責任者の氏名を記入してください。
13. 宣誓書
自動車車庫について使用権原があることが確実である場合、及び、車庫の土地・建物が都市計画法等(農地法、建築基準法、車両制限令等)の関係法令に抵触していないことが確実である場合に、日付の欄に届出日と同様の日付を記載し、住所及び氏名の欄に届出人の住所、及び、氏名又は名称を記入し、捺印してください。なお、宣誓書の記入がない場合は、届出内容が補正されてから受理します。